

# 畜産振興策と施設整備について問う

## 現状を見て対応策を考える



宮本 昭一 議員

減っていないが、自家  
保留される頭数がかな  
り減っている。

補助金の引き上げ  
はできないか

宮本議員

我が町の畜産は我々  
が守るんだと、本当に  
やる気のある方々にこ  
の事業を大いに活用し  
ていただき、本町の優  
秀な繁殖母体を早急に  
作り上げるため、計画  
どうり進まないのでは  
ないか、この事業に対す  
る補助金の引き上げは  
できないか。

T P P 問題で、参加  
をめぐる賛否の対立が  
激しさを増す中、本町  
の畜産振興上何らかの  
影響が出てくるのでは  
ないかと危惧している  
ところである。本年4  
月から新規事業として  
高育種価牛導入保留事  
業が実施されているが、  
どのような状況か。

### 計画頭数が

減っている

町長

本10月までの実績は  
35頭である。計画では  
毎月10頭前後の、年間  
100頭を予定してい  
たが、導入はさほど

現段階では考えて  
いない

町長

今年スタートしたば  
かりなので、今のところ  
考えていない。畜産  
農家が専業化して少数

経営が多くなってきた  
ときに、高品質の子牛  
を販売できるような環  
境を構築していかなく  
ればならない。それが  
第一歩であるので、現  
段階ではこれで進めて  
いく。

採光板の取り換え  
と蛍光灯の設置は

宮本議員

家畜集合指導セン  
ター 繋留所の天井部分  
の明り取りが変色し、  
明かりが通らないため  
登録検査及び子牛の品  
評会時の毛刈や、手入  
れに支障をきたしてい  
る。採光板の取り換え  
と蛍光灯の設置はでき  
ないか。

現状を見て判断する

町長

経年による汚れの付

着が見られ、十分な採  
光ができない状態であ  
る。現状を見ながら洗  
浄か、あるいは取り換  
えるなどの対策を考え  
る。



対策が待たれる採光板（岡別府検査場）

教育長の理念と  
職責感を問う

宮本議員

教育行政の責任者と  
して、学校教育並びに  
生涯教育を含む教育行  
政全般について、どの  
ような理念と職責感を  
持って臨む考えか。

誠心誠意がんばる

教育長

学校教育、社会教育  
の充実のために、これ  
まで経験したことを盾

にして、多くの方の期  
待に応えるためにも誠  
心誠意がんばる。

職場体験の考えは

宮本議員

子どもたちに、でき  
るだけ大崎町の良いと  
ころ、地場産業として  
の農林水産業、各種企  
業等の職場体験の機会  
を作り、郷土に対する  
深い愛情を育てていく  
ということは大変重要  
なことだと思っている。  
このような職場体験、  
郷土学習の充実を本町  
の特色ある教育の一つ  
と位置付けて指導して  
いく考えはないか。

実施している

教育長

町内の中学校では、  
宿泊体験学習は今も  
やっている。今後も子  
どもの将来を見据えて、  
職場体験学習がさらに  
充実するように努める。

社会教育の現状は

宮本議員

教育長として本町の  
社会教育の現状と課題  
について、どのように  
認識し、その充実策に  
ついてリーダーシップ  
を発揮しながら指導し  
ていく考えか。

住民のニーズに  
対応

教育長

社会教育講座につい  
ては、女性や高齢者の  
活動の場として女性講  
座や、いきいき講座を  
各分館単位で開催して  
いる。講座生も毎年増  
えて、語らいの場、生  
きがい場となり、地  
域振興と人と人とのつ  
ながりの一翼を担って  
いると考えている。今  
後は住民のニーズに対  
応する講座の開発や、  
地域の活性化につな  
がっていくような講座  
生の掘り起こしに努力  
する。